



## 障がいがある人もない人も理解し合える地域に

### 障害者支援施設すぎなみき学園

いのうえ けんいち  
副施設長 **井上 憲一さん**

学園は、平成13年に開設し、障がいのある人が充実した生活が送れるよう、入所支援や

**「すぎなみき学園」は、どんな施設ですか？**

毎日、学園とタウンを行き来しています。また、前職がハウスメーカーの設計をしていたので、そこで培った経験を生かし、施設整備計画にも参画しています。

**副施設長はどんな仕事をしていますか？**

施設や事業など全体を把握し、法人運営を行っています。そのため、毎日、学園とタウンを行き来しています。また、前職がハウスメーカーの設計をしていたので、そこで培った経験を生かし、施設整備計画にも参画しています。

**今**月の輝き人は、社会福祉法人すぎなみき会「障害者支援施設すぎなみき学園」副施設長の井上さんをご紹介します。

すぎなみき会は、「すぎなみき学園」（下板橋）と昨年12月にオープンした「すぎなみきタウン」（上板橋）などを運営しています。

ホームをはじめ、相談支援や就労支援を行い「パン工房」や「カフェ」、「美容室」を併設しています。

生活介護などを行っています。現在は、短期入所の方を含め、40名が生活しています。

**「すぎなみきタウン」の特徴は？**

建物正面に解放感あふれる「ふれあいホール」を配置し、会議やサークルなど、地域の交流やふれあいの場として多くの方に利用してほしいと思っています。現在、フラダンスやヨガなどに利用され、施設利用中の障がいのある子どもたちもボランテアでヨガの体験をさせてもらっています。

また、併設された「カフェ&ベーカリー Carrefour」は、栄養士が栄養バランスを考慮した、彩り豊かなメニューがとて好評です。カルフルは、フランス語で「交差点」を意味します。

**今後の抱負は？**

すぎなみき学園の利用者は、下板橋自治会の納涼祭で毎年太鼓を披露し、交流をしています。このすぎなみきタウンも、地域の方に利用してもらい、交流の場になってほしいと願っています。そして、障がいのある人もない人も、お互いが理解し合い、仲間として交流できる地域になってほしいと思います。

**インタビューを終えて…**

小山出身の井上さんは、板橋に住み始めて14年。徒歩圏内に駅やスーパー、銀行、郵便局、役所の出張所が揃っていることが気に入っていると云います。毎朝、ウォーキングで見る城山の景色に癒やされているという、大らかで優しい笑顔の井上さん。  
地域の福祉交流のため、ますます頑張ってください。



下板橋納涼祭で、日光和楽踊りを披露する、すぎなみき学園利用者の太鼓クラブ

### ☆すぎなみきタウン

場所：板橋178番地29

☎(25)3294(代表)

営業時間(パン・カフェ)：火曜

(土曜日(午前9時～午後4時))

※ランチは午前11時～午後2時